

# まとめ：研究の成果

スマート獣害対策技術の開発と、  
地域への適合性実証研究コンソーシアム

3年間の研究により、全国に普及可能な獣害対策のための商品や技術サービスが複数完成した。  
また、それらの技術を使用した社会実験の結果、捕獲数の向上や被害の軽減などの成果を出すことができた。  
これらの地域は他地域への導入モデルとなる。

## 研究成果の商品化

- ・ まるみえホカクンAI・遠隔給餌モデル
- ・ くくり罠のIoT遠隔ストッパー
- ・ マクロ、ミクロ双方の可視化と共有が可能なオープンGISシステム  
（仮称）獣害ステーション
- ・ 通信機能を有するスマート電気柵
- ・ メッシュガイシ



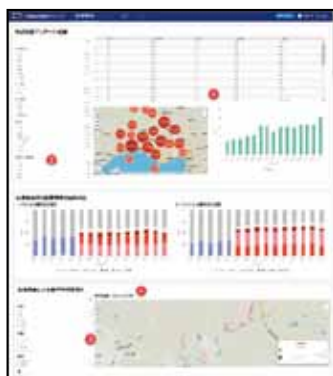
まるみえホカクンAI・遠隔給餌モデル



くくり罠のIoT  
遠隔ストッパー

## 開発された技術の実証による成果

- ・ ICT捕獲システムによるオンラインツアーなどのビジネスモデル
- ・ ICT捕獲システムと防護柵の併用による被害ゼロ集落
- ・ 広域での導入による被害軽減地域



マクロ、ミクロ双方の可視化  
と共有が可能なオープン GIS  
システム  
（仮称）獣害ステーション



通信機能を有するスマート  
電気柵



長期での被害軽減を実現



オンライン捕獲ツアー



メッシュガイシ